_第 41 _期 中間報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで

アールビバン株式会社 ^{証券コード 7523}

株主の皆様へ

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第41期中間期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の営業の概況ならびに主要事項についてご報告申し上げます。

敬具

2024年12月

アールビバン株式会社

代表取締役会長兼社長 野澤 克 尸

営業の概況

当中間期におけるわが国経済は、海外経済の減速、台風などの自然災害、物価高の影響があったものの、企業の景況感、賃上げ等による個人の所得環境に改善がみられ、消費マインドも改善傾向にあり、景気は緩やかに持ち直しの状況がみられております。

このような状況の下、当社グループでは、2024年4月よりスタートした第41 期は、主力の「アート関連事業」を中心に、成長スピードを加速させるよう、 一段と事業運営に注力いたしました。

更に中長期的な視点に基づき、人材、組織など経営基盤固めを実践するとともに、新規顧客の開拓及び過去にとらわれない新たな収益基盤の創造にチャレンジしてまいりました。

基幹の「アート関連事業」におきましては、多くのお客様に催事会場にお越 しいただいており、「絵のある豊かな生活(くらし)」によって、一人でも多 くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう積極的な営業展開を行ってまい りました。

【アート関連事業】

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、従来に引き続き、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力し、新規顧客の獲得及び取扱アーティストのブランド化や新作家開発に努め、版画の売上拡大につなげてまいりました。

しかしながら、前年同期には高額美術品の販売が4億74百万円あったことにより、売上高、営業利益は減少しております。

【金融サービス事業】

金融サービス事業におきましては、従来に引き続き、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入あっせん事業(以下、クレジット事業といいます)を中心に取り組んでまいりました。

【健康産業事業】

ホットヨガ事業におきましては、2020年4月、5月において緊急事態宣言等の影響により、休会・退会会員が多く発生し、会員数の厳しい状況が続いているものの、不採算店舗のクローズなども実施し、営業利益は徐々に回復してきております。

売上高は2023年12月に閉店したフィットネス事業の「カルナーフィットネス&スパー柏」の売上がなくなったことにより減少となったものの、営業利益は増加となっております。

この結果、連結業績は、売上高54億26百万円(前年同期比6.1%減)、営業利益11億86百万円(同18.4%減)、経常利益12億57百万円(同29.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は8億35百万円(同28.5%減)となりました。

売上高及び営業利益の減少の主な要因は、前年同期においては高額美術品の販売が4億74百万円あったことによります。経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益の減少の主な要因は、前年同期には前述の高額美術品の販売による利益があったことに加え、投資有価証券売却益が3億19百万円あったことによります。

なお、当期の中間配当につきましては、1株につき30円(うち特別配当15円)の実施を決定いたしましたので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

今後のわが国経済は、米国大統領選挙後の新政権の政策による世界経済への 影響懸念、海外経済の減速や資源・物品価格の上昇、為替相場の変動、ウクラ イナ、イスラエル等の国外の問題は、先行き不透明感が強い状況となっており ます。

このような経済状況を踏まえ、通期の連結業績見通しを、売上高104億円、営業利益21億円、経常利益21億円、親会社株主に帰属する当期純利益11億円と見込んでおります。

(注) 今後の状況の変化によって、通期の連結業績見通しに大きく変動が生じる可能性がございますことをご留意ください。

当社グループは、1984年の創業以来、変わることなく、「心の豊かさ」を提案し続けてまいりました。アートやヨーガ、ファイナンス事業によって、様々な刺激、感動を得て、生きる力を強め、喜びを深め、創造性を高めて、人間本来の本質・原点に立ち戻っていくことのお手伝いをし、幸福を広げる会社でありたいと考えております。

主力のアート関連事業におきましては、多くのアーティストを発掘し、広めてまいりました。1984年に創業後、1996年に業界初の株式公開(店頭登録)を果たし、アート市場を切り拓いてきた開拓者であり、先導役であると自負しております。「日本の文化水準を上げる」「日本全国に心の灯りをともす」「日本発のアーティストを世界に発信する」といった当社がめざすビジョンにより近づけるよう、成長スピードを上げていきたいと考えております。

金融サービス事業におきましては、一般加盟店の顧客に対するクレジット事業の拡大を図るよう営業を強化してまいります。

健康産業事業のホットヨガ事業におきましては、会員数は依然として厳しい 状況が続いておりますが、会員が増加に転じるよう、店舗やサービスの魅力の 向上を図ってまいります。

中間連結貸借対照表

(2024年9月30日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	29, 243, 342	流動負債	15, 639, 163
現金及び預金	4, 542, 584	買 掛 金	345, 151
++ 1H ^	, ,	短 期 借 入 金	7, 032, 962
売 掛 金	15, 981, 527	1年内返済予定の長期借入金	1, 337, 592
棚卸資産	7, 774, 034	リース債務	28, 177
前払費用	221, 142	未払法人税等	409, 570
		前 受 金	2, 756, 404
そ の 他	894, 417	割賦利益繰延	2, 796, 815
貸 倒 引 当 金	△170, 363	賞 与 引 当 金	58, 966
 固定資産	4, 938, 034	その他	873, 523
	4, 930, 034	固定負債	3, 261, 210
有形固定資産	519, 054	長期借入金	3, 020, 866
建物及び構築物	204, 190	リース債務 退職給付に係る負債	94, 310 136, 573
I. Life		操延税金負債	7, 809
土地	237, 367	そ の 他	1,650
リース資産	11, 221		18, 900, 373
その他	66, 275	(純資産の部)	12,122,222
無形固定資産	132, 694	株 主 資 本	15, 265, 632
投資その他の資産	4, 286, 285	資 本 金	1, 863, 995
投資有価証券	2, 416, 967	資 本 剰 余 金	5, 090, 607
長 期 貸 付 金	272, 000	利 益 剰 余 金	11, 382, 626
敷金及び保証金	98, 099	自 己 株 式	△3, 071, 596
繰延税金資産	220, 730	その他の包括利益累計額	15, 370
退職給付に係る資産	21, 212	その他有価証券評価差額金	2, 448
そ の 他	1, 392, 782	退職給付に係る調整累計額	12, 921
貸倒引当金	△135, 506	純 資 産 合 計	15, 281, 002
資 産 合 計	34, 181, 376	負債・純資産合計	34, 181, 376

⁽注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(2024年4月1日から) 2024年9月30日まで)

(単位:千円)

					(中位・111)
	科	目		金	額
売	上		高		5, 426, 005
売	上	原	価		1, 601, 721
売	上 総	利	益		3, 824, 283
販	売費及び-	- 般 管 理	費		2, 637, 652
営	業	利	益		1, 186, 631
営	業外	収	益		
	受取利息及	び配当	金	50, 345	
	投資事業組	. 合運用	益	27, 887	
	保険解約	返戻	金	143, 925	
	貸倒引当	金戻入	額	134	
	その	ı	他	9, 492	231, 785
営	業外	費	用		
	支 払	利	息	43, 703	
	為 替	差	損	111, 409	
	その		他	6, 211	161, 324
経	常	利	益		1, 257, 091
特	別	利	益		
	固定資産	売却	益	3, 432	3, 432
特	別	損	失		
	固定資産	除却	損	4, 415	
	店 舗 閉	鎖損	失	136	
	減損	損	失	1, 164	5, 716
税	金等調整前口	中間純利	益		1, 254, 807
法	人税、住民税	及び事業程	锐	363, 842	
法	人 税 等	調整	額	55, 878	419, 720
中	間 純	利	益		835, 086
親	親会社株主に帰属する中間純利益				835, 086

⁽注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(2024年4月1日から) 2024年9月30日まで)

(単位:千円)

科	目	金	額
営業活動によるキャッミ	ンュ・フロー		835, 018
投資活動によるキャッミ	ンュ・フロー		△499, 031
財務活動によるキャッミ	ンュ・フロー		△556, 959
現金及び現金同等物に位	系る換算差額		△9, 782
現金及び現金同等年	かの減少額		△230, 755
現金及び現金同等物	の期首残高		4, 773, 344
現金及び現金同等物の「	中間期末残高		4, 542, 589

⁽注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

役 員 (2024年9月30日現在)

B	E	4	Ä	坩	<u>t</u>	位	担当及び重要な兼職の状況
野	澤	克	E	代表取締役会長兼社長		兼社長	(㈱ダブルラック代表取締役社長 TSCホリスティック㈱代表取締役会長兼社長 インターナショナル・オークション・システムズ㈱代表取締役会長
岩	本	_	也	取	締	役	(㈱ダブルラック取締役 TSCホリスティック(㈱取締役 インターナショナル・オークション・システムズ(㈱取締役
樋	П	弘	司	取	締	役	管理部長兼経営企画室長 (㈱ダブルラック取締役 TSCホリスティック(㈱取締役 インターナショナル・オークション・システムズ(㈱取締役
野	澤	竹	志	取	締	役	(㈱ダブルラック取締役 TSCホリスティック(㈱取締役 インターナショナル・オークション・システムズ(㈱取締役社長
岡	本	昌	廣	取	締	役	スタンダードアート事業部長 インターナショナル・オークション・システムズ隣取締役
郷	倉	正	人	社 夕	卜取	締 役	コンサルティングオフィスG 代表
園	Ш	勝	美	常勤	社外監	查役	
野	澤	==	三朝	監	查	役	TSCホリスティック㈱監査役
柳	岡		茂	社 夕	ト 監	査 役	寺本・柳岡法律事務所

株 主 メ モ

事業年度4月1日~翌年3月31日

期末配当金 受領株主確定日

3月31日

中間配当金

受領株主確定日

9月30日

定時株主総会 毎年6月開催

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三井住友信託銀行株式会社証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

Tel0120-782-031 (通話料無料)

特 別 口 座 の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三井住友信託銀行株式会社証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

TeL0120-782-031 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

公告掲載新聞 電子公告

くご注意>

- 1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問合せください。
- 3. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。